

曾根小学校校区 危険箇所マップ

交通安全編



⑦信号機のない交差点
信号機のない横断歩道。交通量多く、車がきちんと停止しないことがあり、危険。一度止まって、車を確認して渡る。

⑧ハローデイへと繋がる交差点
押しボタン式の信号機のある横断歩道。写真正面の押しボタンは、民家の壁ギリギリに設置されていて、歩道もなく、登下校する児童も交通量も多いので車道に出ないように注意が必要。

⑨ハローデイへと繋がる交差点(2)
(写真正面の)角の民家の壁が死角となり、ハローデイ側(写真奥側)から来る車には歩行者や自転車が見えにくいので、必ず一度止まって、確認をする。

⑩貫交差点
大きな交差点なので、信号が変わっても車が通ることがある。横断歩道上に赤信号の車が停まることもあります。必ず歩道橋を通る。

⑪ウエルシア横の交差点
交通量が多く、青信号で横断中であっても右・左折車が進入してくるため、左右確認をし、注意して渡る必要がある。

⑫石橋漢方堂の交差点
写真正面の建物が死角となり、写真正面奥側から出てくる車・自転車に気づきにくい。

⑬潤崎団地の交差点
潤崎団地側から大通りに出て来る車やバイクなどに注意。停止線を越えて前に行くので危険。

①北門近くの交差点
民家の壁で車・自転車・歩行者の確認がしにくい。写真左側の道と写真右側(北門側から来た道)の道は、お互いが見えない。一度止まって左右確認、飛び出さない。

②南門前道路
道幅は狭く、交通量が多い。校庭側の塀に沿って、白線の内側(緑色の部分)の部分を一列で歩く。

③小学校裏側の道路(北門～南門)
道幅狭く、交通量が多い。白線の内側(緑色の部分)の部分を一列で歩く。

④宗産婦人科前交差点
交通量が多い。小さな四つ角であるが民家の壁(写真正面と右側)で、車・自転車・子どもが見えにくい。一度止まって左右確認、飛び出さない。車同士の離合もあるので注意。

⑤中曾根ひまわり公園への交差点
朝は交通量多い。一旦停止があるが、見通し悪く、危ない。また、信号機のない横断歩道あり、注意。

⑥曾根郵便局近くの道路
バスも通り、交通量が多く、事故が多発している。道路が狭い上に、歩道が途中でなくなり、緑色の部分からはみ出さないように一列で歩く。

曾根小学校区の特徴

- ・道幅が狭く、交通量が多い場所が多い
- ・道が入り組んでいて、他人の目が届きにくい場所が多い
- ・校区が広いため、自宅が遠いと一人で移動しないといけない時間がある
- ・貫川をはじめ、小さな水路が校区内にあり、子ども達が遊びたくなる場所が多くあり危険

気を付けること

- ・交差点では、一度止まって、車や自転車を確認する
- ・登下校は決められた道を通り、寄り道をしな
- ・わき道を通らず、人通りの多い道を通る
- ・防犯ブザーの使い方の確認(時々、鳴るのか確認)

曾根小PTA 令和8年3月作成

